

創意くふう展

九月九日(土)・十日(日)の二日間、葉山町図書館展示ホールにおいて「葉山町青少年創意くふう展」が開催されました。今年度は六六二点の作品が出品され、二日間の延べ入場者数は六一三人(児童生徒は二九九人)でした。

以下の受賞作品、創意くふう部門の三賞(町長賞、議長賞、教育長賞)と優良賞の計九点は、十一月に行われる神奈川県青少年創意くふう展覧会に出品されます。

町長賞

小国 七慧 (長柄小学校六年)

「点滴をしても自分で着替えられたらいいな。替えることのできるパジャマ」



「点滴をしても自分で着替えられたらいいな。」病気で入院することの多かった私は、いつもそんなことを考えていました。

着替えをするときは看護師さんにチューブの接続部分をはずしてもらい、そこからパジャマの袖を通します。そのとき、チューブの中には細菌が入りやすくなるので必ず消毒します。パジャマの袖とわきの部分を開くことができれば、安全に自分で着替えることができると思います、このパジャマを考えました。

議長賞

柴田光太郎 (長柄小学校五年)

「かんたんはきはきくつ下アンドずれないひざかけ」



教育長賞

永嶋 裕樹 (葉山中学校三年)

「ふくろシヨルダー」



ぼくの家の前の「葉山の里」のおじいちゃん、おばあちゃんに役立つものを作ってあげたかったから作りました。

道で重そうな荷物を持っている人を見て、両手がふさがっていたので不便そうだと思いました。荷物を肩にかけられるような作品を作れば両手があくのではないかと思います、この作品を作りました。

葉山だからできる豊かな学びにむかおう

『葉山町教育総合プラン』解説5)

教育総合プラン推進懇談会開催

平成十七年三月に策定された同プランは、町民一人ひとりの「生涯にわたって学習し続ける意欲」と「学習・教育環境の充実」をめざす一〇〇項目以上にわたるアクション・アイテムから形成されています。答申をいただいたから、事務局では、それらを具体的な事業として実施するための準備を進め、一一五項目からなる「実施計画案」を作成しました。

「教育総合プラン推進懇談会」は、幼児教育・学校教育・社会教育・地域関係者等、十名の識者から構成され、プランの実現に向けて、実施計画案の優先順や過不足、具体化に向けたアイデア等について検討していただいているところです。

今年度三回開催された懇談会の中では、「学校トイレサミットを開いたらどうか」「子育て支援及び幼・小の連携が優先。」「大学教育学部との連携は早急に実現を。」等、様々なご意見をいただきました。次年度以降の実施計画に反映させて参ります。



6月3日 上山口小学校 運動会

催し・多彩

体験からしか育たない力がある



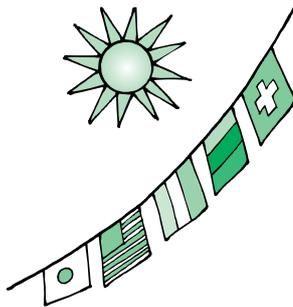
6月3日 長柄小学校 運動会



6月10日 南郷中学校 体育祭



8月1日 海に学ぶ集い



9月23日 葉山中学校 体育祭



9月30日 南郷中学校 文化祭



9月30日 葉山小学校 運動会

ていきたいものです。

「笑顔であいさつ励行中」のローガンを掲げて、それぞれ一週間ずつ、重点的に取り組みました。さわやかなあいさつが葉山町いっばいに広がって、心と心がつながることで、もっとすてきな葉山の町をつくって

れました。写真の旗は「あいさつ運動」のシンボルとして、三浦市を出発点に、葉山町・逗子市・鎌倉市・藤沢市・茅ヶ崎市・寒川町へとリレーされています。葉山町では、最初に旗を託された葉山小学校が「元氣にあいさつ励行中」、



9月5日 葉山小学校 校門前にて

あいさつリレー